

THE MUUR P.16

ロンド・ファン・フラーンデレン、クラシックの王様と呼ばれるそのレースのアイコンともいえる急勾配の石置区間 Muur(壁)、2012年よりコースから外されてしまったその Muur をめぐる数々のストーリーを 2006年から 2011年のレースハイライトやジョージ・ヒンカピー、ロジャー・ハモンドの Muur についての証言とともに。

LUCA PAOLINI P.32

マエストロ、ディレクター、賢者、高速移動するオーケストラの指揮者…。イタリア人ベテランレーサー、ルカ・パオリニを言い表すための言葉は多く、その働きはファンからは見えにくいチームにとっては黄金にも等しい。チーム・カチューシャが誇る Cyclic's Cyclist、髭の巨匠ルカ・パオリニのインタビュー。

LANCE: THE HISTORY MAN PART 2 - P.38

モーテン & ヤコブのデコボココンビがランス・アームストロングの今を捉える The History man 第2弾。友人たちとのゴルフ、アスピンのジャーナリスト、ハンター・S・トンプソン(作家・故人)の酒とドラッグをめぐるちょっとしたドライブ、そしてガンを克服したヒーローとして、病氣と闘いながらもハイスchoolを卒業する少女を訪ねる。少女の母親、友人の保安官、元プロスキーヤー、ジョニー・デップ、妻の友人…。ランスを取り巻く人々、アスピンの街、現在も続く病氣と闘う人への支援…。世界じゅうの自転車ファンはまだまだ知らないであろうランス・アームストロングがここにいます。

MKWGX P.68

ロンドン郊外ミルトン・キーンズ、シクロクロスの世界カップ史上初めて大陸から離れて開催されたこの第3戦、レースの段取りになれたベルギーのファンとは違い、観客は最初のジュニアレースから最後のエリートまで声を枯らす。ベネディクト・キャンベルの幻想的な写真がその多くを語ってくれるでしょう。

OMLOOP HET NIEUSBLAD P.88

春を待つ3月のベルギーには北海からの冬の風が吹き付け、そのレースは毎年雨と雪に見舞われる。フランス・ベーコンの絵のようなゆがんだ顔の猛獣たちが小石と泥を観客に撒き散らしながらゴールへ向かう。"みんながこの本を読むのをやめてここに来るようになったら俺たちの仕事は無くなると思うかい?" モーテン & ヤコブがキャブチャーするオムループ・ヘット・ニュースブラッド。

BLOCKED: HOW NOT TO WRITE A CYCLING NOVEL P.102

1980年代、炭鉱の町、二人の兄弟、サッカーに熱狂する兄と自転車に自分の道を見だしロードレーサーとしてフランスへ向かう弟…。ストーリーの設定はできた、まずはコーヒーを…。その小説はまだ書かれていない。ヘミングウェイ、ティム・クラッペ、クリス・クリーブ、小説文学とサイクルレースをめぐるちょっとした話。

CANYON P.108

トレーラーでのパーツ販売、ガレージショップからワールドツアーのサプライヤーへ、ドイツの革新的なブランド、キャニオンの邁進。

THE LAST DESCENT: RICHARD DEPOORTER P.134

ツアーオプスイスで命を落とした1940'sのベルギーのスターレーサー、これは不幸な事故か殺人か、彼の何が脅威だったのか、新たな調査による事実。

COLUMNS

- P.14 "NORTH RIDING" BY MARTIN PROCTER
- P.87 "BLIND FAITH" BY MATT SEATON
- P.126 "EARLY LEARNING CENTRE" BY ROBERT MILLAR



THE MUUR

